

ヒアリングまとめ①

町の良い所

- ・自然が多い
- ・安全
- ・親切
- ・あいさつをする
- ・みのわ祭りがある
- ・みんな優しい
- ・暮らしやすい
- ・野生動物が多い

【こども】

町の悪い所

- ・ごみが多い
- ・ポイ捨てする人がいる
- ・ごみが捨ててある
- ・交通手段が少ない
- ・病院が少ない
- ・盗撮する人がいた

こんな町になってほしい

- ・自然がいっぱい
- ・みんな仲よし
- ・優しい町
- ・楽しい町
- ・きれいな町
- ・ごみを捨てない
- ・ポイ捨てしない
- ・マナーを守る
- ・平和な町
- ・犯罪がない
- ・お店が増える
- ・生き物がたくさん

大人に言いたいこと

- ・ごみを捨てないで
- ・ポイ捨てしないで
- ・いろんなところに行きたい
- ・旅行に行きたい
- ・いじめをなくしたい
- ・話を聞いてほしい
- ・イベントをもっと増やしてほしい
- ・ゲームやお菓子が欲しい
- ・お金が欲しい
- ・テストを簡単にしてほしい
- ・休み時間を増やしてほしい
- ・もっとバスを教えてください
- ・図書館に新しい本を増やしてほしい
- ・町にたくさんお花があるといい
- ・遊具を増やしてほしい
- ・アスレチックがほしい
- ・プールの時間を増やしてほしい
- ・公園をもっと増やしてほしい
- ・ゲームセンターがほしい
- ・肩車してほしい
- ・抱っこしてほしい
- ・学童を良くしてほしい

【学校】

【人材】

- ・人手不足
- ・音楽や理科の専門の先生がいるといい

- ・教員免許を持っている方の活用
- ・人員配置を柔軟に対応できると良い

【ICT】

- ・授業中に、授業とは関係のないサイト等にアクセスしていることを家庭と共有したい

【居場所】

- ・不登校の子の親の会を作ってほしい
- ・学区ごとに不登校の子が行ける居場所があると良い
- ・学校には来れるが教室に入れない子の居場所があると良い

【施設】

- ・空き教室がないため物が置けない
- ・障がいのある子には教室が狭い

【連携】

- ・教育委員会との連携
- ・中、高の連携（情報の共有）

【その他】

- ・地域の人たちからの支援
- ・校外学習で使えるよう、町のバスをとりやすくしてほしい

箕輪町

【保護者】

【施設】

- ・夏でも遊べる場所が増えると良い
- ・雨の日に遊べる場所があると良い
- ・公園が充実すると良い（遊具や日陰等）

- ・体育館が無料開放されると良い

【イベント】

- ・たくさん開催される良い
- ・子ども向けのものがあると良い
- ・Instagramで情報が発信されると良い

【交通】

- ・バスが増えると良い
- ・妊婦タクシーがあると良い
- ・歩道が少ない
- ・通学路の安全確保（歩道整備、街灯の設置、グリーンベルトの充実）

【学校】

- ・給食費が無償になると良い
- ・学校での様子が伝わってこない

【子育て支援】

- ・病児保育の充実
- ・ベビーシッターのような支援
- ・子育て支援の充実
- ・子どもを預ける場所の充実

【情報】

- ・小さい子どもでも対応可能な店の情報
- ・休みの日のイベント情報の発信
- ・子育て情報の集約

【居場所】

- ・不登校の子が過ごせる場所があると良い（フリースクール等）
- ・学童に子どもが多いため、場所が充実すると良い

【子育て支援センター】

【人材】

- ・人手不足
- ・専門家（助産師、栄養士）のいる機会が増えると良い

【施設】

- ・施設的环境整備をしたい
- ・子どもを預かる施設が増えると良い

【施設】

- ・子どもを預かる施設が増えると良い

【連携】

- ・異動の際に行政の引継ぎがしっかりされると良い
- ・町担当者に子どもや家庭の様子を知ってほしい
- ・民間事業者の話聞く機会があると良い
- ・全員で支援できるよう連携できると良い

【その他】

- ・送迎の支援
- ・0歳からずっと繋がった情報が分かるものを作ってほしい
- ・民間も含めた情報（トイレ、食事、おむつ交換、専門家等）をまとめたものを作りたい

【保護者】

子育てで大切にしていること

【主体性】

- ・やりたいことをやらせる
- ・こどもの気持ちや考えを優先する
- ・自分で考えて行動すること
- ・自尊心を大切にする
- ・色々制限しない
- ・自由にさせる

【教育】

- ・できたらほめる
- ・達成感や肯定感
- ・ちゃんと叱ってちゃんとほめる
- ・考えさせる
- ・挨拶や礼儀をきちんとできるようにする
- ・社会一般常識を成長する過程で学ばせる

【環境】

- ・周囲の環境
- ・のびのびと安心して暮らせる

【体験】

- ・人と関わる
- ・楽しい体験
- ・自然の中で体を動かす
- ・自分で見て触って体験する
- ・色々な価値観に触れる

【接し方】

- ・一人の人として意見を聞く
- ・こどもの話をよく聞く
- ・伝わるように接する
- ・同じ目線で接する

【時間】

- ・こどもとの時間
- ・家族みんなで過ごす時間
- ・一緒にいる時間を大切にする

【その他】

- ・なるべく食事を作る
- ・こどもの幸せ
- ・健康
- ・愛情
- ・人に迷惑をかけない
- ・生きていればいい

【こども】

こんな大人になりたい

【職業】

- ・イラストレーター
- ・スポーツ選手
- ・看護師
- ・消防士
- ・美容師
- ・料理人
- ・農家

【その他】

- ・ユーチューバー
- ・プロゲーマー
- ・お金持ち
- ・有名人
- ・お父さんみたいな人
- ・親の勤めている会社
- ・ない

【人となり】

- ・優しい人
- ・人を守ってあげる人
- ・面白い人
- ・かっこいい人
- ・だれにでも優しい
- ・環境を壊さない
- ・人助けをしたい

【子育て支援センター】

保護者の課題

- ・様々な悩み（こどもの成長、健康、友だち関係等）がある
- ・周りから見て疲れている
- ・家族以外に話し相手がない
- ・話を聞いてほしがっている
- ・ストレスがたまる

こどもの育ちに大切なこと

- ・周りの人の気持ちの余裕
- ・こどものSOSを聞く

【障がい児福祉サービス事業所】

こどもの育ちに大切なこと

- ・こころを育む
- ・いいところ探し
- ・色々な分野の人が関わること
- ・こどもの目線に合わせる

保護者の課題

- ・子育てに不安をもっている
- ・こどもに振り回されている

【学校】

こどもの育ちに大切なこと

- ・自己肯定感を上げる
- ・自己肯定感を上げるためのまわりの人の声掛け
- ・保護者の心の余裕
- ・家庭での育て方
- ・体験を増やす
- ・地域の人たちの支援
- ・こどもの目線で接すること

こどもの課題

- ・つまずきが多様
- ・自己主張が少ない
- ・固定された人間関係（小さい学校から中学に行った際に適応できないことがある）
- ・個別対応する子の増加
- ・起立性調節障害のこどもが増えている
- ・学力の個人差
- ・家庭の経済格差
- ・愛情不足（愛着障害）
- ・SNSやゲームでのトラブル
- ・落し物が多い

ヒアリングまとめ③

■ ヒアリング対象

| | |
|-------|---|
| こども | 約 182 人 |
| 保護者 | 約 195 人 |
| 学校 | 小学校 5 校、中学校 1 校、箕輪北小学校学童 |
| その他施設 | 子育て支援センター「いろはぼけっと」、障がい児福祉サービス事業所 2 事業所) |

※こどもについては、こども会議として設定したが、意見はヒアリングとして処理を行った

■ ヒアリング結果総括

【こども】

「こんな大人になりたい」では、身近な職業や保護者の姿（人となり、職業）を見てという意見が多かった。また、「町の悪いところ」では、通学路に落ちているごみの問題が多く挙がった。「大人に言いたいこと」でもポイ捨てが挙がっており、こどもたちは周りの大人や環境をよく見ていることが分かる。そのため、大人がこどもの見本となるような姿勢を見せていく必要がある。

こどもの課題としては、「個別対応の必要な子の増加」、「つまずきの多様化」などが挙げられている。近年、支援の必要なこどもの増加、課題の多様化が起きており、こどもの教育環境を整えらるとともに支援が必要なこどもへの支援を十分に行えるようにする必要がある。そんな中、学校の課題としては人員不足が挙げられており、要望としては「教員免許を持っている方の活用」、「柔軟な人員配置」、「専門の先生の配置」等が挙げられた。

【保護者】

「子育てにおいて大切にしていること」では、主体性や体験の機会を挙げる方が多かった。箕輪町においては、他市町村に比べてイベントを多く開催しておりありがたいといった声を多くいただいたが、町への要望としても「イベントが増えると良い」や「夏や雨の日でも遊べる場所があると良い」等の体験に関わる要望が多かった。また、こどもからも「こども主体のイベントを増やしてほしい」といった意見が挙げられている。

学校や子育て支援センターでは、「こどもの育ちに大切なこと」として保護者や関わる大人の心の余裕が挙げられている。一方、保護者の課題としては、様々な悩みや子育ての不安を抱えており疲れている保護者や話し相手がおらずストレスのたまっている保護者など、周りから見て心の余裕が持っていない状況の保護者もいる。そのため、保護者の方の負担を減らすための施策について検討を行う必要があると考えられる。子育て支援センターや障がい児福祉サービス事業所でのヒアリングにおいて、施設を利用することで保護者の方の気持ちの変化を感じるといったことがあった。保護者の方が施設を利用しやすくするために、要望として「利用しやすくするための施設の環境整備」や「民間の施設も含めた情報のまとめ・発信」等が挙げられた。